

陳情第 1 3 5 号

令和 7 年 1 1 月 2 1 日

川崎市議会議長 原 典 之 様

中原区

グランシティ武蔵小杉Ⅱ管理組合
理事長

ほか 146名

中原区中丸子（丸子その 2 排水区）における降雨による内水氾濫
解消を目的とした早期の公共下水道整備の実施及び安全安心な市
民生活を求める陳情

陳 情 の 要 旨

平成17年（2005年）に竣工以来、約20年の期間に合計 3 回の集中豪雨による深刻な床上浸水被害を受けた中原区中丸子35番 8 号（以下当地区という）に所在する総戸数51世帯のマンション管理組合です。罹災の都度、限りあるマンション管理組合原資と幾ばくかの受取保険金を充当し数千万円に及ぶ費用を捻出して共用部分のエレベーターや立体駐車場設備等を復旧し、また床上浸水のあった専有部 5 住戸については相当の被害復旧を繰り返し、その対応に追われてまいりました。

万一の豪雨による浸水に備え、当マンション管理組合の内部対策として止水板や土のうの購入配備や一部排水ポンプを追加するなどの対策を自前で実施してまいりました。しかしながら令和 7 年（2025年） 9 月11日の中原区周辺での突発的かつ局地的な降雨により、当該マンションの西側、東側公共下水道は内水氾濫を起こし、専有部 5 住戸と共用部分に床上浸水被害を受けました。当該マンションの西側と東側に位置する公共下水道管路は地形や雨水地盤浸透率の関係か定かではありませんが、近傍周辺地区に比較して降雨による内水氾濫を引き起こしやすく、日々、不安な市民生活を強いられております。

市上下水道局での令和４年度（2022年度）～令和７年度（2025年度）の市上下水道ビジョン中期計画には当地区は含まれておらず、翌年度以降の中期計画には盛り込む検討が進行中とのことです。当地区の計画策定や実施時期は不透明な現況です。１日も早く安心して安全な市民生活を得られるよう、当該地区の早期の公共下水道整備を求めるものです。

陳 情 の 理 由

- 1 公共下水道の内水氾濫による床上浸水被害はO157の感染リスクがあること、住民が就寝時に突発的に床上浸水が発生した場合、一瞬の事態に対応できず生命の危険があるため。
- 2 現行の１時間当たり52mmの排水管路設計基準は、横浜地方気象台における大正元年から大正10年の10年間の降雨記録のうち第２位の数値に基づき、５年に１回程度の降雨として時間雨量52mmを設定されたと認識しております。近年の地球温暖化による気候変動の影響により局地的な集中豪雨の発生が過去20年間において増加傾向にある昨今、現在の排水管路設計基準の見直しが必然であり、現在敷設の管路排水能力に不足が否めないため。
- 3 令和５年（2023年）８月に当地区上流に当たる上丸子山王町２丁目地区において従来の自然流下で整備された多摩川への山王排水樋管への排水ルートとは別に、当地区排水区域下流に位置する丸子ポンプ場へバイパス管路が新設接続された。これにより山王排水区（丸子その１排水区）は以前に比較して浸水被害は軽減されたが未整備の当地区（丸子その２排水区）においては令和７年（2025年）９月11日の降雨による浸水被害は軽減されず床上浸水の被害が発生し続けているため。
- 4 中原区内水ハザードマップ「令和４年（2022年）８月版」は気象庁統計をもとに関東地区における想定最大規模降雨１時間当たり153mmを想定した浸水リスクを地域ごとに定めているが、当地区は50cm～１mの床上浸水相当の地区に位置されているにも関わらず当地区整備計画は不透明であるため。
- 5 令和元年（2019年）10月12日、令和７年（2025年）９月11日の床上浸水に係る当該マンション管理組合復旧費用総額は数千万円にも及び、エレベーター、立体駐車場装置、宅配ロッカー等諸設備の更新入替え、消毒、清掃、漏

電調査、什器備品入換え等の費用負担が発生した。受取保険金を充当したとしても限りある原資からの当管理組合の経済的負担は大きく、また、万一の浸水発生に備えた対策（止水板、土のう、排水設備改良等）の購入費用にも相応の負担を強いられている。特に床上浸水リスクのある下層階住戸専有部分区分所有者においては、度重なる専有部分の復旧費用や家財処分、買換えに伴う負担はもとより、生命の危険を脅かされる程の不安な市民生活を強いられており、当管理組合としても安全で安心な市民生活の確保を求める強い意向であるため。

陳 情 項 目

- 1 令和8年度（2026年度）以降からの市公共上下水道整備中期計画として、当地区西側前面道路周辺及び東側周辺一帯を含む管路整備を盛り込む当排水地区（丸子その2排水地区）における雨水幹線、バイパス管、雨水貯留管、暗渠、新たなポンプ場の新設、整備等の有効な手段を用いた内水氾濫防止策の策定

- 2 令和8年度（2026年度）以降からの上記計画の早期実行

現在世界の潮流になっている「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げるゴールは、「川崎市上下水道ビジョン」の目指す方向性を共有しており、市上下水道局では実施計画の施策及び取組を推進することでSDGsの達成に寄与することが公開されております。

その中の項目には、「住み続けられるまちづくり」、「気候変動に具体的な対策を」というゴールが設定されております。これを踏まえ、市議会の皆様が掲げる「市民が安心して心豊かに暮らせる魅力あるまちの実現」の市民に向けたメッセージを拝見し、中原区中丸子に所在する一部地域の声ではございますが、当該マンション住民にとって深刻な現状を御理解いただきたく陳情申し上げる次第でございます。この切なる願いの陳情をどうか採択していただくことを心より願っております。